

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 12 月 24 日 (2020.12.24)

【公表番号】特表 2020-513434 (P2020-513434A)

【公表日】令和 2 年 5 月 14 日 (2020.5.14)

【年通号数】公開・登録公報 2020-019

【出願番号】特願 2019-525826 (P2019-525826)

【国際特許分類】

C 0 8 L 35/06 (2006.01)

B 0 1 J 20/02 (2006.01)

B 0 1 J 20/30 (2006.01)

B 0 1 D 53/14 (2006.01)

C 0 8 K 3/00 (2018.01)

C 0 8 K 5/00 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 J 3/12 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 35/06

B 0 1 J 20/02 C

B 0 1 J 20/30

B 0 1 D 53/14 1 0 0

C 0 8 K 3/00

C 0 8 K 5/00

C 0 8 L 101/00

C 0 8 J 3/12 C E T A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 11 月 12 日 (2020.11.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

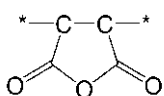
【請求項 1】

バインダーと、

a) ポリマーであって、

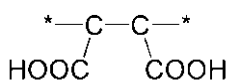
i) 15 ~ 65 wt % の、式 (I)、式 (I I)、又はこれらの混合物の第 1 のモノマー単位、

【化 1】



(I)

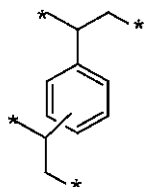
【化 2】



(I I)

i i) 30 ~ 85 w t % の、式 (I I I) の第 2 のモノマー単位、及び

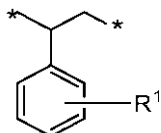
【化 3】



(I I I) 、及び

i i i) 0 ~ 40 w t % の、式 (I V) の第 3 のモノマー単位

【化 4】



(I V)

(式中、各 R^1 は、独立に、水素又はアルキル基であり、式 (I) ~ (I V) 中の各アスタリスク (*) は、ポリマー材料中の別のモノマー単位への、又は末端基への結合部位を示す) を含むポリマー、及び、

b) 前記ポリマー材料に組み込まれた二価金属であって、前記ポリマー材料 1 グラム当たり 少なくとも 1 . 5 m m o l の量 で存在する、二価金属を含む、金属含有ポリマー材料と、

を含む複合顆粒。

【請求項 2】

前記ポリマー材料中に組み込まれる前記二価金属の量が、前記ポリマー材料 1 g 当たり 1 . 5 ~ 15 m m o l の範囲内である、請求項 1 に記載の複合顆粒。

【請求項 3】

前記バインダーが、ケイ酸塩を含む、請求項 1 に記載の複合顆粒。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の複合顆粒を準備することと、

前記複合顆粒を前記塩基性窒素含有化合物の蒸気に曝露することと、を含み、

前記塩基性窒素含有化合物が、前記複合顆粒中の前記金属含有ポリマー材料の前記二価金属と反応して、金属錯体を形成する、塩基性窒素含有化合物を捕捉する方法。

【請求項 5】

前記複合顆粒を前記塩基性窒素含有化合物に曝露すると、前記複合顆粒が色を変化させる、請求項 4 に記載の方法。